

和泉葛城山植物調査 (2009 年)

上久保 文貴 (自然遊学館わくわくクラブ)・湯浅 幸子・岩崎 拓 (貝塚市立自然遊学館)

摘要

貝塚市蕎原から和泉葛城山への登山道には、春日橋から本谷沿いに登り標高 375m 付近から宿ノ谷に入る A コースと、塔原からの登山道と合流して枇杷平を通過する B コースがある。貝塚市立自然遊学館ではこれまで継続して貝塚市内の植物調査が行われてきたが、登山道 B コースに関しては、調査が行われたことがなかった。そこで本年度には、貝塚市内の植物相を明らかにすること、および和泉葛城山登山や東手川ハイキングなどの自然遊学館主催の行事の資料を提供する目的で、登山道 B コースを含めて、山頂付近、登山道 A コース、および東手川において植物調査を行った。

1. 登山道 B コースの植物

蕎原集落の裏山をのぼり、岸和田市との境界線に沿った尾根筋の道を枇杷平を経て山頂に向かうコースである。集落の登り口近くでは、オオイヌノフグリ、タチイヌノフグリ、フラサバソウなどの帰化植物や、ハコベ、キウリグサ、タネツケバナ、カラスノエンドウなどの人里の植物が見られる。山地に入るとまだ若いスギ、ヒノキの植林になっているが、林床にはコシダ、ウラジロ、ミヤコザサなどが多く、ヒサカキ、ヤマウルシ、サカキ、アオキなどの低木も所々に見られる。

標高 300m 付近まで進むとコナラ、アベマキ、リョウブ、ネジキ、タカノツメなどの雑木林になっている。かつては薪炭林として利用された二次林かと思われるが、その中にコジイ、シラカシ、ヤマモモ、ヤブツバキ、サカキ、タラヨウ、アオキ、マンリョウなどの照葉樹林を構成する樹種が多く見られ、特にツブラジイ、シラカシ、ヤマモモなどの直径 40~50cm ほどの大木があちこちに見られる。人手の加わる前のこの地方の自然植生はシイ、カシなどの常緑広葉樹林(照葉樹林)で覆われていたと考えられているが、その面影の一端をうかがい知ることができる場所である。

フユイチゴ、ビナンカズラ、コウヤボウキ、シュンラン、コ克蘭などを見ながら急な坂道を登ると、標高 350m ほどのところはマダケ林になっておりフモトシダ、ヘラシダ、シャガ、ドクダミなどやや湿地を好むものが多い。また、この付近で注目すべきものとしては、春早くジンチョウゲに似た花をつけるコショウノキ、大阪府では北部にはなく南部山地に希にみられるムロウマムシグサや、南部山地には多いが北部にはないマルバウツギなどがある。

岸和田市との境界線の尾根筋近くまで登ると、崩れやすい泥岩質の地層で貧栄養の急斜面があり、ウバメガシの純林になっている所がある。そこを通り抜けると、急に視界が開け眼下に塔原の古くからの集落があり、その向こうに大阪湾が一望できる。この尾根で塔原からの登山道と合流し、尾根筋の道を枇杷平、玉冷泉を経て山頂へ向かうが、この付近ではモチツツジ、コウヤボウキ、ゼンマイ、チゴユリなどがあり、やや珍しいものでフユザンショウ、ツルグミ、ミヤマナルコユリ、ダンコウバイ、タマミズキ、コバンノキなどがあり、大阪府準絶滅危惧種のコショウノキは 6 月の調査時には赤い実をつけていた。

枇杷平近くまで登ると、高さ 10m～15mほどの美しいアカマツ林が多くなるが、上層はアカマツの樹冠が覆い、中層はリョウブ、ネジキ、コナラ、ツブラジイ、ヒサカキなど、下層にはモチツツジ、ウラジロ、ミヤコザサなどが見られる。かつて、アカマツ林は大きなアカマツは建築用材などに残り中層部のリョウブ、コナラ、ネジキなどの雑木は 15 年ほどの周期で伐採し、薪や炭の材料として利用したものである。

古くから雨乞いのための祈りの場であった枇杷平付近もアカマツ林やスギ、ヒノキの植林が多いが、南側の急斜面には、ウバメガシの純林になった所がある。注目すべきものとしてはトサノミツバツツジ、コバンノキ、コガクウツギ、エビガライチゴ、ウリハダカエデ、ノリウツギ、イタヤカエデ、ウラジロノキ、ツルシキミ、タマミズキ、ヒメクロモジなどがある。

標高 600mほどの所で、300mほど舗装された林道（車道）を歩くが、道沿いにはヨウシュヤマゴボウ、イワヒメワラビ、シラカシ、ヒカゲノカズラ、ガンピ、ムロウマムシグサ、ヒメハギ、センブリ、ササユリなどが見られる。

再び登山道に入ると「みどりの百選」の石標がある。ホオノキ、アカショウマ、タンナサワフタギ、イタヤカエデ、カキノハグサ、メギ、タムシバなどを見ながら進むと、古くから年中清水が湧いている玉冷泉（天保 4 年）の石標がある。イチヤクソウ、タツナミソウ、シラキ、ギンリョウソウを見ながらしばらく進むと標高 790mの地点に分岐点があり、右折すると A コースへ通じる作業道である。

2. 登山道 A コースの植物

登山道 A コースは、春日橋より本谷沿いに登り標高 375m付近から宿ノ谷に入り、谷筋に沿った道を山頂に向かうコースである。谷筋の地形は急で谷底は V 字形に深く削られ、ハシカケノ滝（白糸滝）など各所に滝が見られ、侵食の激しい壮年期初期の地形かと考えられている。谷の両側斜面は古くからその大半がスギ、ヒノキの人工林になっているが、その林床や谷筋には貴重な植物が残されている。

登り口の春日橋付近（標高 308m）もスギの人工林になっているが、川岸や道沿いの林内にはオオハナワラビ、クジャクシダ、キチジョウソウ、ウラジロマタタビや暖地性のホウライカズラ、ムロウマムシグサ、モミジカラスウリ、コショウノキ、イワタバコ、ミヤコミズなど貴重な植物が見られる。

標高 375m付近で左折して橋を渡ると宿ノ谷林道に入るが、周りはスギ林で林内にはアオキ、ニワトコ、ネズミモチなどの低木やウラジロ、コシダ、フモトシダ、チゴユリ、ササユリなどの草本が見られる。

標高 400mほどの尾根筋に出ると、急傾斜のため植林ができなかったのかウバメガシ、コナラ、リョウブ、ネジキ、アカマツ、タカノツメなどの雑木林になったところがある。

標高 410m付近は深い溪谷になっており、谷底から伸びたケケンポナシやスギは樹高 30mほどの大木になっており、その急斜面のスギ林の中はヤブツバキ、アオキ、シロダモ、アラカシなどの常緑樹が多く、かつての照葉樹林の名残をとどめているが、シラキ、アカシデなどの落葉樹も混じっ

ている。

標高 470mの橋を渡ると、緩やかな上り坂で川幅も広く、兩岸のスギの植林も古く直径 40~50cmの大木も多い。風の為に落下したスギの枝にカヤランが着生していた。エゴノキ、オオバアサガラ、コショウノキ、ツルシキミ、ミカエリソウ、ヒトリシズカ、フタリシズカ、ムカゴイラクサ、ヒメレンゲ、トウゴクサバノオ、リョウメンシダなど希少種も多い。また、ここにはシロバナショウジョウバカマによく似るが少し違う個体の集団がある。花の色が咲き始めは白いが次第に黄色みを帯び花柄がやや長くなる集団で他地域でも問題になっているが、山住一郎氏によるとショウジョウバカマとシロバナショウジョウバカマの雑種らしい。(近畿植物同好会会報 101 号)

標高 500mの橋を渡ると湿地がありミズタバコ、ミゾホオズキ、ミズタマソウ、キツリフネなどがある。ヒトリシズカ、トチバニンジン、ヤマジオウなどを見ながら進むと大阪みどりのトラスト協会の説明板(標高 536m)があり、これより先は天然記念物のブナ林保全のためのバッファゾーンになっている。この付近もスギの人工林で林内にはアブラチャン、ウラジロガシ、ヤブツバキ、エゴノキ、ハナイカダなどの低木が多い。次第に坂は急になり、谷の中から斜めに立ったアスナロの大木がある。

標高 580mのハシカケノ滝は近木川水系では最大級の滝で、林道のコンクリート舗装もここまで谷の右岸側には、これから先スギ、ヒノキの人工林もない。道ばたにミヤマウコギ、タンナサワフタギ、ウリノキ、モミジガサ、イズミカンアオイなどが見られ、谷筋にはヤブツバキ、ツルマサキなどの常緑樹が見られる。右岸の斜面はヤマザクラ、アカシデ、コナラ、イヌザクラなどの落葉樹の明るい林で、林床にはメギ、ヤマルリソウ、チゴユリ、タチネコノメソウ、テイショウソウ、コウヤボウキ、イワガラミ、クサアジサイ、ヤマアジサイ、テイカカズラなどが見られる。

標高 650m付近には、大きなブナの木があり、このコースを登ると最初に見るブナである。付近はヤマザクラ、ウラジロノキなどがあり、尾根筋の急斜面はウバメガシが多く、リョウブ、コナラ、ネジキ、ヒサカキ、イヌツゲなどを交えた二次林になっている。

標高 690mの所に分岐点があり右折するとブナ保全のための作業道になる。この付近ではヒメコウゾ、ウド、アキチョウジ、ホオノキ、ウリノキ、アカシデなどが見られる。

3. 東手川の植物

東手川は近木川の支流で、春日橋付近で近木川と分かれ、最上流部は和泉葛城山系の尾根筋にある五本松付近である。今回の調査は、その下流部の標高 308mの春日橋から標高 460mのカネギリ谷の橋までである。

今回の調査で出現した植物は 76 科 192 種あり(表 1)、他の調査地と比べて調査区域が狭い割に出現種数が多い。東手川も上流部はスギ、ヒノキの人工林が多いが、今回調査した下流部は比較的道も緩やかで、古くから里山として利用され、人の立ち入りも多かったものと思われる。そのためかアメリカセンダングサ、ブタクサ、セイタカアワダチソウなどの帰化植物やオオバコ、タネツケバナ、ツユクサなどの人里の植物の侵入が多く、出現植物も多くなっているものと思われる。

登り口の春日橋付近の道ばたにもゲンノショウコ、イヌタデ、オオバコ、ツルマメなどの人里の

植物が見られるが、近くの水のみ場周辺では環境省の絶滅危惧Ⅱ類に指定されているミヤコミズや葉が2m近くにもなる大型シダのオオバノハチジョウシダやノコギリシダ、イブキシダ、クリハラン、オオツツラフジなどの、この地本来の山の植物の希少種も見られる。

標高 325mの東手川橋付近ではヒヨドリバナ、カラムシ、ヒメコウゾ、ウツギなどがあり、川岸にはイヌガヤ、ウリノキなど大阪ではやや珍しいものも見られる。橋を渡ると空き地になった広場があり、アメリカイヌホオズキ、ダンドボロギク、アメリカセンダングサ、ブタクサなどの帰化植物が見られ、オオバコ、キツネノマゴ、タカサブロウ、ヘビイチゴなど人里の植物も多い。

舗装された林道を進むと、ツユクサ、レモンエゴマ、コナスビなどがあり、やや珍しいものとしてナンバンハコベ、トキワトラノオ、クリハラン、アマチャヅル、リョウメンシダ、アブラチャン、シオデ、カヤランなどがあり、大阪府レッドデータブックでは要注目種に指定されているセトウチホトトギスも見られる。

標高 350m付近で道を離れて川辺に下りるとノコンギク、ヤナギタデ、ハナタデ、ミゾソバ、カキドオシ、マタタビなどがあり、シダ植物のイワヒメワラビ、カタヒバなどやや珍しいものも見られる。

再び道に戻りコヤブラン、ネコハギ、イナカギク、ヒガンバナ、ガンクビソウ、ヤブコウジ、ヒヨドリバナなどを見ながら進むと、帰化植物のイタチハギがたくさんあるが、砂防用に植えられたものらしい。ヨウシュヤマゴボウ、セイタカアワダチソウなどの帰化植物も見られる。またこの付近の木はネムノキ、ヤマモモ、イロハモミジ、クマノミズキ、アカメガシワ、ヤマアジサイなどがあり、この付近ではやや珍しいアワブキや山の陰地に生える小さな草のカテンソウが見られる。

標高 415mほどの所でやや広い川辺の草地に下りるとアカネ、ノコンギク、メナモミ、ミズヒキ、イヌトウバナなどがあり、希なものとしてはササガヤに似るが山地性でやや大型、節に毛があるミヤマササガヤがあり、やや珍しいオオツツラフジ、ミヤマフユイチゴが見られた。木本ではムラサキシキブ、シラキ、ツリバナ、ヤマコウバシなどが見られた。今回の調査は標高 460mのカネギリ橋までで終了した。

4. 山頂付近の植物

山頂部の約 8ha のブナ林は、1923 年（大正 12 年）国の天然記念物に指定されている。指定された理由は、①ブナの南限圏内に近い所にあつて純林を作っていることは、植物分布上重要であるだけでなく、自然美を表現する価値あるものである。②和泉山脈では、連山が既に人手が加わった林になっているのにここだけに天然林がある。という 2 つである。

今回の山頂付近の調査は、天然記念物に指定されている約 8ha のブナ林内の道沿いの植物を中心に調べた。和歌山県側の駐車場から茶店までの道沿いにはアズサ、アカシデ、イヌシデ、ウリハダカエデなどがあり、その中に逸出したキウイがあり長いつるを伸ばしていた。また新しいトイレ周辺にはギンモクセイなどの植栽もありオオバコ、ヨモギなどに混じって帰化植物のシマスズメノヒエも見られた。

茶店の前の坂道を山頂（標高 858m）まで登ると葛城神社があり、その北側斜面が天然記念物ブ

ナ林である。ブナの大木が樹冠を覆い、その下にウリハダカエデ、アカシデ、イヌシデ、ツリバナなどがあり、神社に植えられたサトザクラも古木になっている。

神社からブナ林の中を下る長い石段があるが、その周辺にはブナ、イヌブナ、アカシデ、タムシバ、ウリハダカエデ、ツリバナなどが多く、林床はほぼ全面をミヤコザサが覆っているが、その中にテイショウソウ、フタリシズカ、セトウチホトトギスなどの希少種が見られる。石段を下りた所に鳥居があり登山道 A コースと B コースはここで合流する。

石段の下（標高 830m）から B コース上部（標高 830m～790m）に入るとブナ、コハウチワカエデ、シラキ、コシアブラなどのブナ帯に生える落葉樹が多いが、ここではブナ林の中に常緑広葉樹のアカガシの大木が見られる。ここで注目すべきものとして大阪では希なテイショウソウ、コハウチワカエデ、寄生植物のヤドリギ、大阪府レッドデータブックで要注目に指定されているイズミカンアオイ、カキノハグサがある。

石段の下（標高 830m）からブナ林入口（標高 760m）までの A コース上部に入るとブナ、イヌブナの大木が多く、その中にアズサ、ヤマザクラ、ホオノキ、コハウチワカエデ、タムシバなどの樹木が各所に見られる。林床にはミヤコザサが多いがツルシキミが一面に広がった所も見られる。注目すべきものとしては大阪では希なものにコハウチワカエデ、テイショウソウ、ヒナノウスツボ、ユリワサビ、チドリノキ、キツリフネ、ミヤマハハソ、アズサなどがあり、大阪府レッドデータブックで準絶滅危惧に指定されているメギ、エイザンスミレ、要注目に指定されているカキノハグサ、アオバスケ、イズミカンアオイ、ユキザサがある。

表1. 和泉葛城山の登山道Bコース、Aコース、山頂、および東手川で確認された植物の科数と種数（2009年度調査）

植物の分類群				Bコース		Aコース		山頂		東手川		全体	
				科数	種数	科数	種数	科数	種数	科数	種数	科数	種数
種子植物	被子植物	双子葉植物	合弁花類	19	50	22	46	17	34	15	40	25	102
			離弁花類	40	113	45	100	41	87	35	82	54	205
		単子葉植物	8	24	10	28	6	16	10	36	12	63	
	裸子植物			2	3	4	6	1	2	2	3	4	6
シダ植物				14	23	12	20	4	5	14	31	17	46
合計				83	213	93	200	69	144	76	192	112	422

作業道では合弁花類5科6種、離弁花類13科15種を確認し、全体の科数と種数には作業道のものも含まれている。

登山道Bコースは標高250～790m。登山道Aコースは標高308～760m。東手川は標高308～460m。

山頂付近はブナ林のコアゾーンに相当し、Bコースの標高790m以上の部分、Aコースの標高760m以上の部分に当たる。

調査方法

2009年4月から10月にかけて、計8回の調査を行った。各調査日の調査ルートは以下の通りである（図1）。基本的に3名で調査を行ったが、7月2日、10月9日、10月16日は、第一著者のみで調査を行った。

- 4月22日、登山道Bコース
- 6月25日、登山道Bコース+作業道
- 7月2日、登山道Aコース
- 8月1日、登山道Aコース
- 9月10日、山頂付近
- 9月29日、東手川
- 10月9日、登山道Aコース+山頂付近
- 10月16日、登山道Aコース

各調査日のルートを数区画に分け、区画ごとに確認された植物の種を記録し、主な植物の写真を撮影した。また、同定が困難なサンプルに関しては、自然遊学館に持ち帰って顕微鏡下で形質を検討して同定を行った。

調査結果は、各調査日のルートの各区画で確認された種を列記し、各調査地ごとのまとめのリストを作成した。

「作業道」はブナ林の保全のために設けられたバッファゾーン内に作られた道で、登山道Bコースとの交点は標高790m、登山道Aコースとの交点は標高670mである。

「山頂付近」は天然ブナ林保全のコアゾーンとし、登山道Bコースでは作業道との交点を境としてそれより標高が高い部分、登山道Aコースではブナ林保全コアゾーンの境界（標高760m）を境としてそれより標高が高い部分に相当する。まとめのリスト（表2）に示した区分は以下の通りである。

登山道Bコース：蕎原集落から作業道との交点まで（標高250～790m）。Bコースの山頂付近部分は含まない。

登山道Aコース：春日橋から宿ノ谷を通り、作業道との交点を経てブナ林保全のコアゾーンの境界まで（標高308～760m）。Aコースの山頂付近部分は含まない。

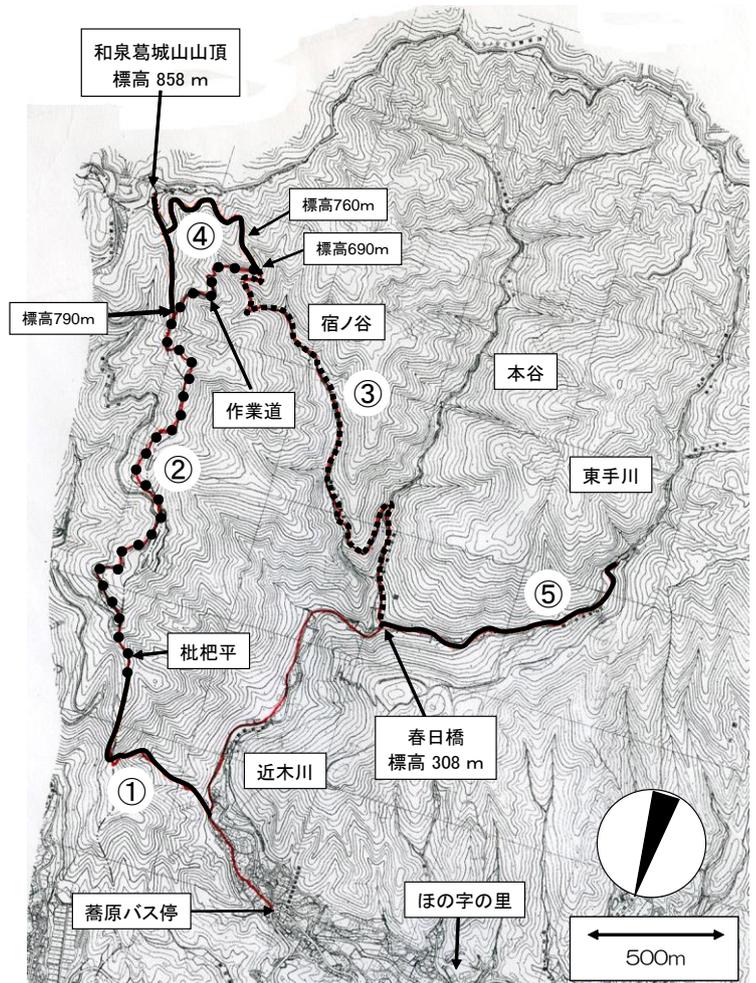


図1. 和泉葛城山植物調査ルート

- ① 4月22日 ② 6月25日 ③ 8月1日 ④ 9月10日 ⑤ 9月29日

作業道：ブナ林保全のためのバッファゾーンに設けられた道。登山道 B コースとは標高 790m 地点で、A コースとは標高 670m 地点で交わる。

山頂付近：登山道 B コースの標高 790m より上の部分と A コースの標高 760m より上の部分。ブナ林保全のコアゾーンに相当する山頂にある葛城神社の石段の下（標高 830m）で両コースが交わる。

東手川：春日橋から東手川林道に沿ってカネギリ谷の橋まで（標高 308～460m）。

以下、出現順に植物名を記した。（実）と（花）はそれぞれ、実がなっていたこと、および花が咲いていたことを示している。（帰）は帰化植物のことである。また、（やや希）や（希）の区分、および（南部には多いが北部では希）などの記述は、「大阪府植物目録」（桑島、1990）に従った。（準絶滅危惧）と（要注目）は、「大阪府レッドデータブック」（大阪府、2000）による。[全]の印は、「環境省レッドデータブック」（環境省、2000）による。

リストの科の区分と順序に関しては、シダ植物は「日本の野生植物 シダ」（岩槻邦男・編著、1995）に従い、それ以外の植物は「大阪府植物目録」（桑島、1990）に従った。

最後に、自然遊学館が画像を所蔵していない種、および、花や実が目立つ種、珍しい種などを中心に、今回の調査で撮影した画像の図版を示した。

2009 年 4 月 22 日 登山道 B コース

蕎原集落から登山道 B コースに入り、岸和田市塔原からの登山道と合流し、枇杷平より少し下の眺望の開けた地点まで登り、植物の種名を記録した。調査者 3 名。

登山道 B コース（標高 250m～塔原コースとの合流点・標高 430m）

マメヅタ、ツタ、フラサバソウ（帰）、ハコベ、ホラシノブ、ドクダミ、セキショウ（花）、キウリグサ、スギナ、タネツケバナ、オニタビラコ、カラスノエンドウ、チャセンシダ、イタビカズラ（やや希）、ノゲシ、アカネ、ボタンヅル、キツネノボタン、ヤエムグラ、ヘビイチゴ、ウマノアシガタ、スイバ、レンゲ、カキドオシ、オオバコ、オオイヌノフグリ（帰）、タチイヌノフグリ、カラムシ、セリ、ゼンマイ、ミツデウラボシ、タチツボスミレ、スズメノヤリ、ミミナグサ、ミゾイチゴツナギ、スズメノエンドウ、ヒメウス、クサイチゴ、オオジシバリ、ムラサキカタバミ、トウバナ、チャ（逸出）、ヘクソカズラ、アケビ、ヒサカキ（雄花）、シキミ、ウマノアシガタ、ノアザミ、マンリョウ（希）、アラカシ、キランソウ、ナガバモミジイチゴ、カワラスゲ（やや希）、ダイコンソウ、コシダ、ウラジロ、マルバウツギ、ヤワラスゲ、ミツバアケビ、ベニシダ、カナメモチ、サカキ、ナンテン、リンボク（希）、ムベ（やや希）、ナキリスゲ、フジ、ケヤキ、フモトシダ、フユイチゴ、ゼンマイ（孢子葉）、コシヨウノキ（希・準絶滅危惧）、ベニシダ、ビナンカズラ、オオアリドオシ（やや希）、ノイバラ、イタドリ、ツブラジイ、コウヤボウキ、ミヤコザサ（やや希）、シユンラン、リョウブ、マルバアオダモ、コナラ、シラカシ、ヤブツバキ、アラカシ、ゼンマイ、ムロウマムシグサ（やや希）、シュロ、キジノオシダ、イヌザクラ（希）、アオキ、テイカカズラ、フ

ユイチゴ、オオキジノオ (やや希)、ネズミモチ、ヤマウルシ、コ克蘭 (やや希)、ジャノヒゲ、ドクダミ、シャガ、コアカソ、ホトトギス sp.、ヒメヒオウギズイセン (帰)、オニタビラコ、マメツタ、ヤブコウジ、クマワラビ、タラヨウ (大阪府南部には多いが、北部は希)、スギ (植栽)、ヒノキ (植栽)、クマワラビ、イタヤカエデ (やや希)、アカシデ (やや希)、ナワシログミ、ヘラシダ、イヌツゲ、ウワミズザクラ (やや希)、ムクノキ、ツブラジイ、ヤブニッケイ、サカキ、カスミザクラ、ヤマモモ (やや希)、モウソウチク (逸出)、ビワ (逸出)、ナツハゼ、アカメガシワ、ネジキ、ソヨゴ、ニガイチゴ

登山道 B コース (塔原コースとの合流点・標高 430m～標高 500m)

タカノツメ、コバノガマズミ、モチツツジ、ウラジロ、ダンコウバイ (やや希)、タマミズキ (やや希)、カクミノスノキ、シラカシ、チゴユリ、イノデ、オオバノイノモトソウ、フユイチゴ、ヤブソテツ、コバンノキ (やや希)、シラキ、コアカソ、イワガネゼンマイ (やや希)、ニワトコ、ハナイカダ、アオキ、ツリバナ、ビワ (逸出)、ナワシログミ、マダケ、シシガシラ、カゴノキ (やや希)、ウバメガシ、ミヤマガマズミ (やや希)、ガンピ (やや希)、アカマツ、ミヤマナルコユリ (やや希)、スイカズラ、マルバアオダモ、アカシデ (やや希)、フユザンショウ (やや希)、ツルグミ (やや希)、キブシ、サルナシ (希)、ダンコウバイ (希)、クサイチゴ、タチツボスミレ、コショウノキ (希・準絶滅危惧)、ネムノキ

2009 年 6 月 25 日 登山道 B コースと作業道

登山道 B コースの標高 500m から作業道との合流点 (標高 790m) まで、作業道、および作業道と登山道 A コースの合流点付近の植物の種名を記録した。また、4 月 22 日に調査した登山道 B コースの標高 250m～500m の区間も、再度記録をとった。調査者 3 名。

登山道 B コース (標高 250m～塔原コースとの合流点・標高 430m)

ウメモドキ、ミヤコザサ (やや希)、モミジカラスウリ (希)、ヘラシダ、イロハモミジ、アベマキ (やや希)、タカノツメ、リョウブ、カクミノスノキ (赤い実)、アカシデ (やや希)、ネジキ、イノデ、マツカゼソウ、ドクダミ (花)、ハエドクソウ (花)、コアカソ、ミズヒキ、チヂミザサ、イワガネゼンマイ (やや希)、オオバノイノモトソウ、シラキ、コショウノキ (希・準絶滅危惧)、ガンピ (やや希) (実ができかけ)、ヤマウルシ、ソヨゴ、ウバメガシ、コナラ

登山道 B コース (塔原コースとの合流点・標高 430m～標高 500m)

ウバメガシの林、ミヤマナルコユリ (やや希)、コウヤボウキ、フユザンショウ (やや希) (実)、ダンコウバイ (やや希)、ツルグミ (やや希)、ゼンマイ、イタドリ、オカトラノオ (花)、ニガナ、ヤブイバラ (やや希)、ネズミモチ (花)、サルトリイバラ、アラカシ、モチツツジ、ヌルデ、ネムノキ、スイカズラ、コショウノキ (希・準絶滅危惧) (赤い実)

登山道 B コース (標高 500m~520m)

ミヤマナルコユリ (やや希)、ムラサキニガナ、キブシ、ササユリ (少なくなっている)、シシガシラ、ヒノキ (植栽)、スギ (植栽) ウバメガシ、リョウブ、ナガバモミジイチゴ、マルバウツギ (大和川以北はない)、ヤマモモ (やや希)、コナラ、ビワ (逸出)、カクミノスノキ (実)、ジャノヒゲ、ヒサカキ、アオキ、イワガラミ (やや希)、ヤマウルシ、コウヤボウキ、チゴユリ (実)、ミヤコザサ (やや希)、ウラジロ、ゼンマイ、アカマツ、モチツツジ、カスミザクラ

登山道 B コース枇杷平周辺 (標高 520m~600m)

ウラジロノキ (やや希)、ツブラジイ、ウバメガシ、リョウブ、コナラ、アカマツ、ヒサカキ、イヌツゲ、コウヤボウキ、カクミノスノキ、ナツハゼ、ヤマウルシ (芽生え)、モチツツジ、トサノミツバツツジ (やや希)、テイカカズラ、カスミザクラ、ヤブコウジ、オカトラノオ、エビガライチゴ (やや希)、ニガイチゴ、クマノミズキ、コバノガマズミ、ヒメコウゾ、コガクウツギ (希)、コバンノキ (やや希)、ウリハダカエデ (やや希)、ヤマコウバシ、ニワトコ、ノリウツギ (やや希)、イタヤカエデ (やや希)、ミヤマシキミ (ツルシキミ) (やや希)、ナワシログミ、ヤブムラサキ、ウラジロノキ (やや希)、タマミズキ (やや希)、ツルアリドウシ (花)、ヒメクロモジ (やや希)、コマユミ、ヤマアジサイ (花)、ナガバヤブマオ (やや希)

登山道 B コース舗装道路 (標高 600m~650m)

ドクダミ、クズ、ヨモギ、オヤブジラミ、ヨウシュヤマゴボウ (帰)、イタドリ、シラカシ、イワヒメワラビ (やや希)、キブシ、ヌカボシソウ、ヒカゲノカズラ (やや希)、シシガシラ、ゼンマイ、サルトリイバラ、ミヤマシキミ (ツルシキミ) (やや希)、ツクバネウツギ、ハナイカダ、ムロウマムシグサ (やや希)、キウイ (逸出)、ガンピ (やや希)、コバノミツバツツジ、サジガンクビソウ、ヒカゲノカズラ (やや希)、タチシノブ、ホラシノブ、コシダ、ウラジロマタタビ (希)、ヒメハギ、テイカカズラ、ネコハギ、コナスビ、ヒメジョオン、ダイコンソウ、センブリ、マルバハギ、ホタルブクロ、ササユリ (少なくなっている)

登山道 B コース (緑の百選看板・標高 650m~作業道との分岐点・標高 790m)

ホオノキ (やや希)、タンナサワフタギ、イタヤカエデ (やや希)、アカショウマ (やや希)、ムラサキニガナ、カキノハグサ (花) (希・要注目)、ショウジョウバカマ、ホトトギス sp.、メギ (希・準絶滅危惧)、タムシバ (やや希)、イチヤクソウ (花) (やや希)、シラキ、ウリハダカエデ (やや希)、タツナミソウ、ギンリョウソウ (希)

作業道 (登山道 B コースとの分岐点・標高 790m~登山道 A コースとの分岐点・標高 690m)

オトコエシ、エゴノキ、オオバコ、ウド (やや希)、ナガバモミジイチゴ、タケニグサ、ミヤマシキミ (ツルシキミ) (やや希)、ヤマアジサイ (花)、コバンノキ (やや希)、フタリスズカ (やや希)、タラノキ、シキミ (やや希)、モミジガサ (やや希)、ウリカエデ (やや希)、ミカエリソウ (やや

希)、アズサ (ミズメ) (希)

登山道 A コース (作業道との分岐点・標高 670mから少し下る)

ダンコウバイ (やや希)、ハエドクソウ、ホトトギス sp、ミヤマウコギ (希・要注目)、クサアジサイ、ホソバウマノスズクサ (やや希)、イヌガヤ (やや希)、トチバニンジン (やや希)、ミゾホオズキ (花) (やや希)、ミズタビラコ (花)、ササノハスゲ (やや希)、イワタバコ (やや希)、オオバアサガラ (希)、サワギク (花)、クジャクシダ (やや希)、ムラサキシキブ、キツリフネ (花) (やや希)、ナンバンハコベ (やや希)

2009 年 7 月 2 日 登山道 A コース

春日橋 (標高 308m) から登山道 A コースを和泉葛城山山頂まで登り、出現した植物の種名を記録した。調査者 1 名。

春日橋 (標高 308m~350m)

イノコヅチ、カラムシ、チヂミザサ、フユイチゴ、クサイチゴ、シャガ、ドクダミ、フモトシダ、イノモトソウ、クジャクシダ (やや希)、ゼンマイ、マルバウツギ、コアカソ、ウツギ、クマノミズキ、モミジカラスウリ (希)、ムラサキシキブ、オトギリソウ、ムロウマムシグサ (やや希)、シロバナハンショウヅル (希・要注目)、アカネ、ヒメジョオン (帰)、イタドリ

登山道 A コース (標高 350m~宿ノ谷入口・標高 375m)

イロハモミジ、イワタバコ (やや希)、カンスゲ (やや希)、オオバノイノモトソウ、クマワラビ、セキショウ、ヤマアジサイ、シラキ、ヤブツバキ、コバンノキ (やや希)、カマツカ、ケヤキ、コマユミ

本谷分岐点 (標高 375m)

ニワトコ、チゴユリ、アカマツ、ササユリ、ウバメガシ、ネジキ、ソヨゴ、タカノツメ、ホタルブクロ、ケケンポナシ (落枝)、ホオノキ (やや希)、イロハモミジ、レモンエゴマ、セキショウ、イズミカンアオイ (やや希・要注目)、フタリシズカ (やや希)、キジノオシダ (やや希)

登山道 A コース橋 (右岸へ標高 430m)

ミカエリソウ (やや希)、コショウノキ (希・準絶滅危惧)、ヒメレンゲ (やや希)、ミズタビラコ、オオバアサガラ (希)、フタリシズカ (やや希)、ヒトリシズカ (やや希)、ムカゴイラクサ (やや希)

登山道 A コース橋 (左岸へ標高 500m)

ミズタビラコ、ミゾホオズキ (やや希)、キツリフネ (やや希)、サワギク、ヤマアジサイ、クサア

ジサイ

登山道 A コース・大阪みどりのトラスト協会の看板 (標高 535m)

イワタバコ (やや希)、ウラジロガシ (やや希)、ヤブツバキ、アスナロ (植栽)

登山道 A コース・ハシカケノ滝 (標高 580m)

ミヤマウコギ (希・要注目)、テイショウソウ (希)、ヤブツバキ、ブナ (希)

登山道 A コース (作業道分岐点・標高 670m～ブナ林保全コアゾーン境界・標高 760m)

コナラ、ミヤマシキミ (やや希)、ネジキ、アズサ (ミズメ) (希)、ウバメガシ、ソヨゴ、リョウブ、ウラジロノキ (やや希)、コバノミツバツツジ、ウリノキ (やや希)、オトコエシ、カキノハグサ (希・要注目)

登山道 A コース (ブナ林保全コアゾーン境界・標高 760m～デッキ・標高 840m)

ミカエリソウ (やや希)、トチバニンジン (やや希)、ユキザサ (希・要注目)、ハシリドコロ (希・要注目)、ニリンソウ (やや希)、ユリワサビ (希)、トウゴクサバノオ (希)、チドリノキ (希)、ブナ (希)、イヌブナ (やや希)、ウスバヒョウタンボク (希・準絶滅危惧)、コハウチワカエデ (希)、ウラジロマタタビ (希)

デッキ付近 (標高 840m)

コシアブラ、ブナ (希)、シラキ、クリ、ホオノキ (やや希)、タンナサワフフタギ、イヌツゲ、アカシデ (やや希)、イワガラミ (やや希)

山頂付近 (標高 858m)

ウリハダカエデ (やや希)、ブナ (希)、イヌブナ (やや希)、イヌシデ (やや希)、アカシデ (やや希)、ツリバナ

2009 年 8 月 1 日 登山道 A コース

登山道 A コースの起点・春日橋 (標高 308m) から宿ノ谷入口の橋 (標高 375m) を経て、作業道との合流点 (標高 670m) 付近までの出現植物を記録した。調査者 3 名。

登山道 A コース (春日橋・標高 308m～宿ノ谷入口 375m)

シャガ、イノコヅチ、メヤブマオ、オオバノイノモトソウ、ヤブソテツ、チヂミザサ、フユイチゴ、スギ (植栽)、ヒノキ (植栽)、ネズミモチ、ムラサキニガナ、ハナイカダ (雄株)、アオキ、マメヅタ、クマワラビ、コヤブラン (やや希)、オニヤブソテツ、エビヅル、ダイコンソウ、コアカソ、ヨシノアザミ、ヘビイチゴ、アオミズ、キツネガヤ、ミズヒキ、アカメガシワ、シュウブソウ、

ヒヨドリバナ、ヒメコウゾ (やや希)、ヤマコウバシ、ホウライカズラ (希)、ウラジロマタタビ (希)、ヒメカンスゲ (やや希)、キチジョウソウ (希)、ミヤコミズ (希・要注目・[全]絶滅危惧Ⅱ類)、アカネ、トリガタハンショウヅル (やや希)、マツカゼソウ、アキノタムラソウ、ヒメジョオン、オオバコ、トウバナ、モミジカラスウリ (希)、ウツギ、イロハモミジ、ネムノキ (花)、アカメガシワ、ゼンマイ、ハンノキ、クマノミズキ、ウラジロウツギ (やや希)、キツリフネ (やや希)、カエデドコロ、ヒメワラビ、ミドリヒメワラビ (やや希)、イワタバコ (やや希) (花)、ビナンカズラ、ウバユリ、ハカタシダ (やや希)、オオツツラフジ (やや希)、ヤマイヌワラビ、モミジカラスウリ (希)、クジャクシダ (やや希)、ハクモウイノデ (やや希)、ヤマアジサイ、ノササゲ、フモトシダ

登山道 A コース (宿ノ谷入口・標高 375m～標高 600m)

タケニグサ、イワタバコ (やや希)、ムラサキシキブ、カンスゲ (やや希)、ヒヨドリジョウゴ、ニワトコ、フモトシダ、ウラジロ、ケケンポナシ、シラキ、ホオノキ (やや希)、セキショウ、ヒメチドメ (やや希)、フタリシズカ (やや希) (花)、ムカゴイラクサ (やや希)、キジノオシダ、ヤマトウバナ (やや希)、ヤブコウジ (花)、ヒサカキ、アブラチャン (やや希)、ヤブツバキ、アオキ、ミョウガ、クサアジサイ、コナスビ、ネコノメソウ、コバンノキ (やや希)、ミカエリソウ (やや希)、コショウノキ (希・準絶滅危惧)、アカショウマ (やや希)、ミヤマフユイチゴ (やや希)、ササノハスゲ (やや希)、ミズタビラコ、シラスゲ、ミゾソバ、ミズタマソウ、ミゾホオズキ (やや希) (実)、ハエドクソウ、ヒトリシズカ (やや希) (花)、トチバニンジン (やや希)、ヤマジオウ (希・準絶滅危惧)、オオバノヤエムグラ (やや希)

登山道 A コース (標高 600m～650m)

ミヤマウコギ (希・要注目)、モミジガサ (やや希)、ウリノキ (やや希)、アキチョウジ、タンナサワフタギ、シキミ、コマユミ、イズミカンアオイ (やや希・要注目)、ウリカエデ (やや希)、ヤママルリソウ、イヌザクラ (希)、アカシデ (やや希)、ヌカボシソウ、ダンコウバイ (やや希)、ミヤマシキミ (ツルシキミ) (やや希)、コウヤボウキ、シシガシラ、テイショウソウ (希)、ミヤマナルコユリ (やや希)、テイカカズラ、サルトリイバラ、イワガラミ (やや希)、クサアジサイ、ヤマアジサイ、コカンスゲ

登山道 A コース (標高 650m～690m)

ヤマザクラ、ウラジロノキ (やや希)、ブナ (希)、ウバメガシ、リョウブ、ヒサカキ、コナラ、ネジキ、イヌツゲ、アズサ (ミズメ) (希)、タムシバ (やや希)、ヒノキ (植栽)、アオハダ (やや希)、アカマツ

登山道 A コース (山頂へ行く作業道に少し入った地点・標高 690m)

ナガバモミジイチゴ、ヒメコウゾ (やや希)、ウド (やや希)、アキチョウジ、ホオノキ (やや希)、

ウリノキ (やや希)、アカシデ (やや希) (実)

2009年9月10日 山頂付近

和泉葛城山山頂 (標高 858m) から葛城神社の石段下 (標高 830m) を経て登山道 B コースを下り、作業道との合流点 (標高 790m) まで行き、石段下まで引き返す。次に、登山道 A コースを下り、山頂への作業道との合流点 (標高 690m) まで行き、再び石段下まで引き返した。このうち、登山道 A コースの標高 760m から 670m までは、ブナ林保全のコアゾーンではなくバッファゾーンに入る。調査者 3 名。

和泉葛城山山頂付近 (山頂駐車場から売店前石段、葛城神社、葛城神社石段下・標高 830m)

アズサ (ミズメ) (希)、キウイ (逸出)、アカシデ (やや希) (実をたくさん)、ケケンポナシ (実)、アキグミ、ウリハダカエデ (やや希)、ロウバイ (植栽)、イヌシデ (やや希)、タラノキ、キンミズヒキ、ケヤキ、シマスズメノヒエ、オオバコ、ヨモギ、ツユクサ、イタドリ、ヨシノアザミ、ウツギ、ヘクソカズラ、ギンモクセイ (植栽)、オニドコロ、ホドイモ、マタタビ、アケビ、アオツツラフジ、コナラ、リョウブ、ミヤコザサ (やや希)、イロハモミジ、スギ (植栽)、ヒノキ (植栽)、ササガヤ、ブナ (希)、チヂミザサ、ツリバナ、ナガバモミジイチゴ、ヤブタバコ、ドクダミ、イノコヅチ、ヨモギ、ウバユリ、ミツバアケビ、フタリシズカ (やや希)、イヌブナ (やや希)、タムシバ (やや希)、ツルマサキ (やや希)、コナラ、アカシデ (やや希)、ウリハダカエデ (やや希)、ネジキ、イワガラミ (やや希)、ボタンヅル、コアカソ、ヤブハギ (やや希)、ヒメチドメ (やや希)、モミジカラスウリ (希)、セトウチホトトギス (希・要注目)、シラキ、ヒメクロモジ (やや希)、ヤブマオ、カマツカ

登山道 B コース (葛城神社石段下・標高 830m ~ 作業道分岐点・標高 790m)

ススキ、エゴノキ、コハウチワカエデ (希)、ヤマイヌワラビ、シシガシラ、フキ、ヌルデ、シラキ、ツリバナ、イズミカンアオイ (やや希・要注目)、タラノキ、イヌツゲ、ヤドリギ (希)、シャシャンボ、アカガシ (やや希)、コカンスゲ、シラキ (実)、トサノミツバツツジ (やや希) (実)、ホオノキ (やや希)、コシアブラ、ヒヨドリバナ、ミヤマシキミ (ツルシキミ) (やや希)、サルトリイバラ、オトギリソウ、ススキ、フジ、テイショウソウ (希) (花)、ツルリンドウ、チゴユリ (実)、イズミカンアオイ (やや希・要注目)、ウラジロノキ (やや希)、コバノガマズミ、ヒイラギ (やや希)、ダンコウバイ (やや希)、カキノハグサ (希・要注目)、シロダモ、タンナサワフタギ、タカノツメ、コウヤボウキ、ヒサカキ、コバノミツバツツジ、ヒメクロモジ (やや希)、ヤマウルシ

登山道 A コース (葛城神社石段下・標高 830m ~ ブナ林保全コアゾーン境界・標高 760m)

ソヨゴ、リョウブ、タムシバ (やや希)、コハウチワカエデ (希)、タカノツメ、コナラ、ツリバナ、シシガシラ、ミヤコザサ (やや希)、チゴユリ、コカンスゲ、スノキ、ウラジロノキ (やや希)、ツクバネウツギ、ゼンマイ、カキノハグサ (希・要注目)、アオバスケ (希・要注目)、コバノミツバツ

ツジ、ヒサカキ、ネズミモチ、イワガラミ (やや希)、ヒイラギ (やや希)、イズミカンアオイ (やや希・要注目)、チゴユリ、テイショウソウ (希)、ハエドクソウ、ヤブソテツ、テイカカズラ、イタドリ、ササノハスゲ (やや希)、モミジガサ (やや希) (花)、ダイコンソウ (花)、イノコヅチ、エイザンスミレ (希・準絶滅危惧)、ミズヒキ、クサアジサイ、アキチョウジ、ヤマルリソウ、ヒナノウスツボ (希)、ユリワサビ (希)、チドリノキ (希)、アブラチャン (やや希)、キツリフネ (やや希)、ムカゴイラクサ (やや希)、ハナタデ (花)、ユキザサ (希・要注目)、ミカエリソウ (やや希)、ウマノミツバ、ミツバ、アオミズ、ノササゲ、ウリノキ (やや希)、モミジガサ (やや希)、ミヤマハハソ (希) (実)、ジュウモンジシダ、ヒノキ (植栽)、スギ (植栽)、イタヤカエデ (やや希)、エゴノキ、ノササゲ、メギ (希・準絶滅危惧)、アズサ (ミズメ) (希)、ヤマザクラ、ホオノキ (やや希)、ムベ (やや希)、ムロウマムシグサ (やや希)、マルバウツギ、イヌブナ (やや希)、キブシ、ヤマアジサイ、コアカソ、クサアジサイ、チヂミザサ、ムラサキニガナ、ミヤマシキミ (ツルシキミ) (やや希)、アオキ、ヤブソテツ、ナガバモミジイチゴ、アカガシ (やや希)、ヒイラギ (やや希)、チゴユリ

登山道 A コース (標高 760m～山頂への作業道分岐点・690m)

イズミカンアオイ (やや希・要注目)、コシアブラ、ツルアリドオシ、ツルリンドウ、ウラジロノキ (やや希)、モチツツジ、カクミノスノキ、シキミ、ネジキ、ウバメガシ、ゼンマイ、コウヤボウキ、コバノガマズミ、ヒサカキ、タムシバ (やや希)、ホオノキ (やや希)、コシアブラ、キジノオシダ (やや希)、ナワシログミ、ナガバカキノハグサ (希)、チヂミザサ、ヤブタバコ、シハイスミレ、ツルニガクサ (やや希)、セトウチホトトギス (希・要注目)、コカンスゲ、ニガイチゴ、ヒメコウゾ、タンナサワフタギ、タケニグサ、サンショウ、ササノハスゲ (やや希)、ミズヒキ、イノコヅチ、ヤマコウバシ、ウリノキ (やや希)、ニワトコ、モミジカラスウリ (希)、ヌスビトハギ、ドクダミ、オオバコ、ヤマノイモ、サルトリイバラ、メヤブマオ、ヒメコウゾ、ハダカホオズキ (やや希)、ミヤマウコギ (希・要注目)、ハナイカダ、コバンノキ (やや希)

山頂への作業道分岐点付近 (標高 690m)

ムラサキニガナ、ウド (やや希)、アキチョウジ、タラノキ、ツユクサ

2009年9月29日 東手川

春日橋 (標高 308m) から東手川林道を登り、カネギリ谷の橋 (標高 460m) までの出現植物を記録した。調査者 3 名。

春日橋～水飲み場龍王 (標高 308m～320m)

ゲンノショウコ、ヌカキビ、ケチヂミザサ、ヘクソカズラ、イヌタデ、オオバコ、アキチョウジ (花)、チヂミザサ、クリハラン (やや希)、フユイチゴ、ミヤマカンスゲ、ナキリスゲ、コアカソ、アオキ、ゼンマイ、ヒノキ (植栽)、スギ (植栽)、ツユクサ、ジャノヒゲ、フジ、ネムノキ (幼)、イ

ノコヅチ、クジャクシダ (やや希)、コバノヒノキシダ (やや希)、ミヤコミズ (希・要注目・[全]絶滅危惧Ⅱ類)、マメヅタ、キヅタ、ノキシノブ、イノデ、ヤマザクラ、クマワラビ、オオキジノオ (やや希)、イワガネソウ、ツルマメ、ウバユリ、オオバノイノモトソウ、ミズヒキ、ニワトコ、ハナタデ、ハナイカダ

水飲み場龍王～東手川橋 (標高 320m～325m)

ノコギリシダ、ミヤコミズ (希・要注目・[全]絶滅危惧Ⅱ類)、モミジカラスウリ (希)、マツカゼソウ、ミョウガ、ミズヒキ、アキチョウジ、シュウブソウ、カラムシ (花)、イノコヅチ、チヂミザサ、ミズタビラコ、ハシカグサ (やや希)、オオバノハチジョウシダ (希)、ケヤキ、イブキシダ (やや希)、ミゾシダ、クリハラン (やや希)、クサイチゴ、ヤエムグラ、ササガヤ、ヤマノイモ、ヨシノアザミ (花)、コアカソ、アケビ、アカネ、マツカゼソウ、キヅタ、スイカズラ、ホドイモ、ヘクソカズラ、ヤブハギ、ウツギ、キブシ、キツネノマゴ、オオツヅラフジ (やや希)、イワガネゼンマイ (やや希)、ヒメコウゾ、ムクノキ、ハゼノキ、オオバノハチジョウシダ (希)、ヘビイチゴ、コウゾリナ、ダイコンソウ (花)、シャガ、ヌスビトハギ、イヌチャセンシダ (やや希)、オニドコロ、スイバ、ヤブガラシ、アオミズ、カラムシ、トウバナ、タネツケバナ、オオバコ、スギナ、ウシハコベ、ミゾソバ (花)、タチシノブ、シンミズヒキ (やや希)、レモンエゴマ

東手川橋周辺 (標高 325m)

ヒヨドリバナ、クズ、ナキリスゲ、アカメガシワ、カラムシ、ツタ、ウツギ、キンミズヒキ、ヤマノイモ、ヒメコウゾ、ヤブソテツ、イノデ、イヌガヤ (やや希) (実)、ヨモギ、ササガヤ、ツユクサ、ウリノキ (やや希)

東手川橋そばの空き地 (標高 325m)

ツユクサ、キンエノコロ、アキノエノコログサ、キツネノマゴ、オヒシバ、ネズミノオ、コゴメガヤツリ、オオバコ、スズメノヒエ、イヌタデ、キンミズヒキ、ダンドボロギク (帰)、タカサブロウ、イヌコウジュ、ヤブカンゾウ、ヤブガラシ、アメリカイヌホオズキ (帰)、カラムシ、カエデドコロ、アメリカセンダングサ (帰)、ブタクサ (帰)、クサイ、コブナグサ、ツボクサ、トウバナ、ヘビイチゴ、コウゾリナ

東手川橋 (標高 325m)～標高 350m

コメナモミ、ケヤブハギ (やや希)、アオミズ、エノキグサ、クマワラビ、チヂミザサ、ハナタデ、ツユクサ、レモンエゴマ、ニワトコ、イノコヅチ、コナスビ、フユイチゴ、コアカソ、オオバノイノモトソウ、ミョウガ、ナキリスゲ、クワクサ、クサイチゴ、ヤブイバラ (やや希)、シュウブソウ、ビナンカズラ、ニワトコ (アケビ、とオオツヅラフジがまきつく)、ナンバンハコベ (やや希) (花)、トキワトラノオ (希)、テイカカズラ、アオキ、ゲンノショウコ、アキチョウジ、イノモトソウ、ジャノヒゲ、クリハラン (やや希)、ハカタシダ (やや希)、ミズタビラコ、ナキリスゲ、

アマチャヅル (やや希)、アオキ、シャガ、イノデ、アブラチャン (やや希)、ケネザサ、メナモミ、ミゾソバ、アオミズ、アシボソ、ゲンノショウコ、シャガ、メヤブマオ (花)、リョウメンシダ (やや希)、シラスゲ、ヒヨドリバナ、シラカシ、ヤマコウバシ、ミツバアケビ、カエデドコロ、カラスウリ、ススキ、ミズタマソウ、ヌルデ、ネズミモチ、シオデ (やや希)、エビヅル、セトウチホトトギス (希・要注目)、カヤラン (やや希) (ねじれたヤマザクラの幹に)、ヒガンバナ

標高 350m 付近 (道から川まで)

ノコンギク、ヤナギタデ、ハナタデ、イワヒメワラビ (やや希)、ミゾソバ、ツユクサ、キツネノボタン、カキドオシ、コアカソ、アオミズ、アキチョウジ、オオバコ、マタタビ、フキ、シュウブソウ、カタヒバ (やや希)、ヒメジソ

標高 350m～標高 415m

コヤブラン (やや希)、ネコハギ、ドクダミ、サルトリイバラ、イナカギク、ススキ、ヒガンバナ、ヒヨドリバナ、ヨシノアザミ、アキチョウジ、シシガシラ、コシダ、ウラジロ、ガンクビソウ、ヤブコウジ、ワラビ、ゼンマイ、センニンソウ、リョウブ、イタチハギ (帰)、ヨウシュヤマゴボウ (帰)、セイタカアワダチソウ (帰)、ネムノキ、ヤマモモ (やや希)、イヌガラシ、オトコエシ、ヘビイチゴ (実、花)、アカメガシワ (実)、イロハモミジ、クマノミズキ (実)、ヤマアジサイ、ミョウガ、アワブキ (やや希)、フモトシダ、カテンソウ (やや希)

川へ降りる小道周辺 (砂防ダム・標高 415m)

アカネ (花、実)、ノコンギク、イタドリ、ミヤマササガヤ (希)、チヂミザサ、ケチヂミザサ、メナモミ、キンミズヒキ、ミズヒキ、ヤマコウバシ (実)、スイカズラ (実)、イヌトウバナ、オオツヅラフジ (やや希)、マダケ、ムラサキシキブ、シラキ、テイカカズラ、ツリバナ、ノガリヤス、ノササゲ、ヤブマメ、ミヤマフユイチゴ (やや希)

2009 年 10 月 9 日 登山道 A コース

これまでの登山道 A コース (春日橋付近・標高 308m～ブナ林保全コアゾーン境界・標高 760m) での記録にない種を中心に、区画を細分して出現植物を記録した。調査者 1 名。

登山道 A コース (標高 308m～350m)

オオハナワラビ (やや希)、チヂミザサ、ハナタデ、イノコヅチ、ウリノキ (やや希)、ハカタシダ (やや希)、オオバノイノモトソウ、ゼンマイ、シャガ、オオツヅラフジ (やや希)、ノコンギク、カラムシ、ホウライカズラ (希)、ハナイカダ、キチジョウソウ (希)、ゲンノショウコ、マメツタ、シュウブソウ、アキチョウジ、フユイチゴ、イロハモミジ、タマミズキ (やや希)、クジャクシダ (やや希)

登山道 A コース (標高 350m～宿ノ谷入口・標高 375m)

イワタバコ (やや希)、モミジカラスウリ (希)、カンスゲ (やや希)、ミヤマカンスゲ、ナキリスゲ、ハンノキ、ムベ (やや希)、シラキ、オオツヅラフジ (やや希)、アブラチャン (実) (やや希)、コマユミ (対岸)

登山道 A コース (宿ノ谷入口・標高 375m～標高 400m)

アキチョウジ、シラキ、ノガリヤス、ハダカホオズキ (やや希)、ヨシノアザミ、コバンノキ (やや希)、ヤマコウバシ、ミツバアケビ、ウラジロ、コシダ、ニワトコ

登山道 A コース右カーブ (標高 400m～410m)

ウバメガシ、ネジキ、ヤマザクラ、イヌシデ (やや希)、ネジキ、タカノツメ

登山道 A コース (標高 410m～450m)

ケケンボナシ (崖下の谷)、ホオノキ (やや希)、イロハモミジ、スギ (植栽)、レモンエゴマ、セキショウ、イズミカンアオイ (やや希・要注目)、アカシデ (やや希)、カヤ (やや希)

登山道 A コース (標高 450m～466m)

フタリシズカ (やや希)、キジノオシダ、クサアジサイ、イヌガヤ (やや希)、クサアジサイ

登山道 A コース橋左岸から右岸へ (標高 466m～500m)

ミカエリソウ (やや希)、コショウノキ (希・準絶滅危惧)、オオバアサガラ (希)、カヤラン (やや希) (スギの落枝)

登山道 A コース橋右岸から左岸へ (標高 500m～536m)

ヒトリシズカ (やや希)、ミズタビラコ、モミジカラスウリ (希)、ヤマアジサイ、オオハナワラビ (やや希)

登山道 A コース (ブナ林保全バッファゾーン境界・標高 536m～ハシカケノ滝・標高 600m)

アブラチャン (実) (やや希)、ハエドクソウ、アスナロ (希、平成 11 年度大阪みどりのトラスト協会植樹)、アマチャヅル (やや希)

登山道 A コース (ハシカケノ滝・標高 600m～山頂への作業道分岐点・標高 690m)

ミヤマウコギ (希・要注目)、ヤブツバキ、イヌザクラ (希)、コナラ、コウヤボウキ、チゴユリ、アオキ、ヒサカキ、シキミ、ジュウモンジシダ

登山道 A コース (山頂への作業道分岐点・標高 690m～ブナ林保全コアゾーン境界・標高 760m)

ブナ (希)、イヌブナ (やや希)

登山道 A コース (ブナ林保全コアゾーン境界付近・標高 760m)

ウラジロマタタビ (希)

2009 年 10 月 16 日 登山道 A コース

春日橋付近 (標高 308m) から登山道 A コースのハイカケノ滝 (標高 600m) までの記録にない種を中心に、区画を細分して出現植物を記録した。調査者 1 名。

登山道 A コース (標高 308m～350m)

オオハナワラビ (やや希)、ホウライカズラ (希)、ハナイカダ、キチジョウソウ (希)、ハナタデ、チヂミザサ、ゲンノショウコ、マメヅタ、シュウブンソウ、アキチョウジ、フユイチゴ、オオバノイノモトソウ、イロハモミジ、タマミズキ (やや希)、ウリノキ (やや希)、クジャクシダ (やや希)

登山道 A コース (標高 350m～宿ノ谷入口・標高 375m)

ハンノキ、ムベ (やや希)、シラキ、オオツツラフジ (やや希)、アブラチャン (実) (やや希)、モミジカラスウリ (希)、イワタバコ (やや希)、コマユミ (対岸)

登山道 A コース (宿ノ谷入口・標高 375m～標高 400m)

シラキ、ヤマコウバシ、ミツバアケビ、ウラジロ、コシダ、ニワトコ

登山道 A コース右カーブ (標高 400m～標高 410m)

ヤマザクラ、ウバメガシ、イヌシデ (やや希)、ネジキ、タカノツメ

登山道 A コース (標高 410m～450m)

ケケンポナシ (崖下の谷)、アカシデ (やや希)、ホオノキ (やや希)、カヤ (やや希)

登山道 A コース (標高 450m～466m)

イヌガヤ (やや希)、クサアジサイ

登山道 A コース橋左岸から右岸へ (標高 466m～500m)

ミカエリソウ (やや希)、コショウノキ (希・準絶滅危惧)、オオバアサガラ (希)、カヤラン (やや希) (スギの落枝)

登山道 A コース橋右岸から左岸へ (標高 500m～536m)

ミズタビラコ、モミジカラスウリ (希)、ヤマアジサイ、オオハナワラビ (やや希)

登山道 A コース (標高 536m～ハシカケノ滝・標高 600m)

アブラチャン (実) (やや希)、アスナロ (希)、アマチャヅル (やや希)

登山道 A コース (ハシカケノ滝付近・標高 600m)

ミヤマウコギ (希・要注目)、ジュウモンジシダ

表2-3. 和泉葛城山で確認された植物のリスト(2009年調査) - 3

科	種	学名	調査コース		作業道		Aコース				山頂付近			東手川		
			調査日	4/22	6/29	6/25	8/1	6/25	7/2	8/1	9/10	10/9	10/16	7/2	9/10	10/9
ゆきのした科	クサアジサイ	Cardiandra alternifolia					○	○	○	○	○					
	ユガクウツギ	Hydrangea luteo-venosa		○												
	ホコノミソフ	Chrysosplenium grayanum							○							
	ノリウツギ	Hydrangea paniculata		○												
	マルバウツギ	Deutzia scabra		○												
べんけいそう科	ヤマアジサイ	Hydrangea macrophylla subsp. serrata		○	○			○	○		○	○				○
	ヒメレンゲ	Sedum subtile											○			
あぶらな科	イヌガラン	Rorippa indica														○
	タネツケバナ	Cardamine flexuosa		○												○
	ユリウサビ	Wasabia tenuis											○	○		
けし科	タケニグサ	Macleaya cordata			○				○							
おとまりそう科	オトギリソウ	Hypericum erectum							○							
つばき科	サカキ	Cleyera japonica		○												
	チャ(逸出)	Camellia sinensis		○												
	ヒサカキ	Eurya japonica		○	○				○	○						
	ヤブツバキ	Camellia japonica		○					○	○						
	ウラジロマタビ	Actinidia arguta var. hypoleuca			○								○			○
またたび科	キウイ(逸出)	Actinidia chinensis			○								○			
	サルナシ	Actinidia arguta		○												
	マタビ	Actinidia polygama														○
	イズミカンアオイ	Heterotropa sp.							○	○						
うまのすずき科	ホソバウマノスズクサ	Aristolochia onoei						○								
	トリスズカ	Chloranthus japonicus							○	○						
せんりょう科	フタリスズカ	Chloranthus serratus							○	○						
	ドクダミ	Houttuynia cordata		○	○											○
どくだみ科	アオツツラフジ	Cocculus trilobus														○
	オオツツラフジ	Sinomenium acutum								○						○
あけび科	アケビ	Akebia quinata		○												○
	ミツバアケビ	Akebia trifoliata		○								○				○
	ムベ	Stauntonia hexaphylla		○							○	○				○
めぎ科	ナンテン	Nandina domestica		○												
	キキ	Berberis thunbergii			○											○
きんぼうげ科	ウマノアシガタ	Ranunculus japonicus		○												
	キツネノボたん	Ranunculus silerifolius		○												○
	シロバナハンショウヅル	Clematis williamsii														
	ゼンシツクサ	Clematis terniflora														○
	トウゴクザンノオ	Isopyrum trachyspermum														○
	トリガタハンショウヅル	Clematis tsaensis														○
	ニリンソウ	Anemone flaccida														○
	ヒメクズ	Aquilegia adoxoides		○												
	ボタンヅル	Clematis apifolia		○												○
	アブラチャン	Lindera praecox														○
くすのき科	カゴノキ	Litsea lancifolia		○												
	シロタモ	Neolitsea sericea														○
	タンコウバイ	Lindera obtusiloba		○	○											○
	ヒメクロモジ	Lindera umbellata var. lancea		○	○											○
	ヤブニッケイ	Cinnamomum insularimontanum		○												○
	ヤマコウバシ	Lindera glauca		○	○											○
	シキミ	Illicium anisatum		○		○										
まつぶさ科	ビナンカズラ	Kadsura japonica		○												○
	タムシバ	Magnolia salicifolia		○												○
もくれん科	ホオノキ	Magnolia obovata														○
	イノヅチ	Achyranthes japonica														○
ひゆれ科	ウシハコベ	Stellaria aquatica														○
	ナンバンハコベ	Cucubalus baccifer var. japonicus														○
	ハコベ	Stellaria media		○												○
	ミナグサ	Cerastium holosteoides var. hallaisanense		○												○
	ヨウシュヤマゴボウ	Phytolacca americana		○												○
	イタドリ	Reynoutria japonica		○												○
	イヌタデ	Persicaria longiseta														○
やどりぎ科	シシミスヒキ	Polygonum filiforme var. neo-filiforme														○
	スイバ	Rumex acetosa		○												○
	ハナタデ	Polygonum caespitosum subsp. yokusaianum														○
	ミスヒキ	Antenoron filiforme			○											○
	ミノソバ	Persicaria thunbergii														○
	ヤナギタデ	Persicaria hydropiper														○
	ヤドリギ	Viscum album var. rubro-aurantiacum														○
	アオミス	Pilea mongolica														○
	カチンソウ	Nanoclide japonica														○
	カラムシ	Boehmeria nivea subsp. nipononivea		○												○
やどりぎ科	コアサ	Boehmeria spicata		○												○
	ナカバヤブアオ	Boehmeria sieboldiana		○												○
	ミヤコミス	Pilea kiotensis														○
	ムクロイラクサ	Laportea bulbifera														○
	メヤブアオ	Boehmeria platanifolia														○
	ヤブアオ	Boehmeria longispica														○
	イタビカズラ	Ficus nipponica		○												○
	クワクサ	Fatoua villosa														○
	ヒシコウソウ	Broussonetia kazinoki														○
	これ科	ケスキ	Zelkova serrata		○											
ぶな科	ムクノキ	Aphananthe aspera		○												○
	アカガシ	Quercus acuta														○
	アラガシ	Quercus glauca		○	○											○
	アベマキ	Quercus variabilis			○											○
	イヌブナ	Fagus japonica														○
	ウバメガシ	Quercus phillyraeoides		○	○											○
	ウラジロガシ	Quercus salicina														○
	クリ	Castanea crenata														○
	ヨナラ	Quercus serrata		○	○											○
	シラカシ	Quercus myrsinaefolia		○												○
かばのき科	ツブラジイ	Castanopsis cuspidata		○												○
	フナ	Fagus crenata														○
	アカシデ	Carpinus laxiflora		○	○											○
	アズサ(ミズメ)	Betula grossa			○											○
やまもも科	イヌシデ	Carpinus tschonoskii														○
	ハンノキ	Alnus japonica														○
	ヤマモモ	Myrica rubra		○	○											○
被子植物 単子葉類	らん科	カモラン	Sarcocochilus japonicus													○
	ヨクラン	Liparis nervosa		○												○
	シュンラン	Cymbidium goeringii		○												○
	しょうが科	ミョウガ	Zingiber mioga													○
	あやめ科	シヤガ	Iris japonica		○											○
	ヒメヒオウギスイゼン	Tritonia crocosmaeflora		○												○
	やまのいも科	オニドコロ	Dioscorea tokoro													○
	カエデドコロ	Dioscorea quinqueloba														○
	ヤマノイモ	Dioscorea japonica														○
	ひがんばな科	ヒガンバナ	Lycoris radiata													○

表2-4. 和泉葛城山で確認された植物のリスト(2009年調査) - 4

科	種	学名	調査コース		作業道		Aコース				山頂付近			東手川			
			調査日	4/22	6/29	6/25	8/1	6/25	7/2	8/1	9/10	10/9	10/16	7/2	9/10	10/9	9/29
ゆり科	ウバユリ	<i>Cardiocrinum cordatum</i>							○				○			○	
	キキョウソウ	<i>Reineckea carnea</i>							○				○			○	
	ユキプラン	<i>Liriope spicata</i>							○							○	
	ササユリ	<i>Lilium japonicum</i>		○				○								○	
	サルトリイバラ	<i>Smilax china</i>		○					○	○				○		○	
	ソコデ	<i>Smilax riparia var. ussuriensis</i>		○												○	
	ソウノヒゲ	<i>Ophiopogon japonicus</i>		○	○											○	
	ショウジョウバカマ	<i>Heloniopsis orientalis</i>		○	○											○	
	セトウチホトキス	<i>Tricyrtis setouchiensis</i>									○					○	
	チコユリ	<i>Disporum smilacinum</i>		○	○				○					○		○	
	ホトキス sp.	<i>Tricyrtis sp.</i>		○	○			○								○	
	ミヤマナルコユリ	<i>Polygonatum lasianthum</i>		○	○				○							○	
	ヤブカンソウ	<i>Hemerocallis fulva var. kwanso</i>		○	○											○	
	ユキザサ	<i>Smilacina japonica</i>											○	○			
	いぐさ科	クサイ	<i>Juncus tenuis</i>														○
		スズメノヤリ	<i>Luzula capitata</i>		○												○
		ヌカボシソウ	<i>Luzula pulmosa var. macrocarpa</i>		○						○						○
つゆくさ科	ツユクサ	<i>Commelina communis</i>								○					○		
さいも科	セキショウ	<i>Acorus gramineus</i>		○					○							○	
	ムロウマムシグサ	<i>Arisaema kishidae</i>		○	○				○							○	
やしろ科	シュロ	<i>Trachycarpus fortunei</i>		○												○	
かやつりくさ科	アオバスケ	<i>Carex insanae var. papilliculmis</i>														○	
	カワラスゲ	<i>Carex incisa</i>		○												○	
	カンスゲ	<i>Carex morrowii</i>						○	○		○					○	
	ヨカンスゲ	<i>Carex reinii</i>							○	○						○	
	ココメガヤツリ	<i>Cyperus iria</i>														○	
	ササノハスケ	<i>Carex pachygyne</i>						○	○	○						○	
	シラスゲ	<i>Carex doniana</i>							○	○						○	
	ナキリスゲ	<i>Carex lenta</i>		○												○	
	ヒメカンスゲ	<i>Carex conica</i>							○							○	
	ミヤマカンスゲ	<i>Carex dolichostachya subsp. multifolia</i>														○	
	ヤワラスゲ	<i>Carex transversa</i>		○												○	
	いね科	アキノエノコログサ	<i>Setaria faberi</i>														○
		アシボソ	<i>Eulalia vilinea var. polystachya</i>														○
オヒシバ		<i>Eleusine indica</i>														○	
キリシバ		<i>Bromus pauciflorus</i>							○							○	
キヌエノコロ		<i>Setaria glauca</i>														○	
ケネササ		<i>Pleioblastus fortunei f. pubescens</i>														○	
クサネミザサ		<i>Opismenus undulatifolius f. japonicus</i>														○	
ヨボナグサ		<i>Arthraxon hispidus</i>														○	
ササガヤ		<i>Microstegium japonicum</i>														○	
シマズメノヒエ		<i>Paspalum dilatatum</i>														○	
ススキ		<i>Miscanthus sinensis</i>														○	
スズメノヒエ		<i>Paspalum thunbergii</i>														○	
チヂミザサ		<i>Opismenus undulatifolius f. japonicus</i>							○	○	○	○	○			○	
スカキビ		<i>Panicum bisulcatum</i>														○	
ネズミノオ		<i>Sporobolus indicus var. purpureo-suffusus</i>														○	
ノガリヤス		<i>Calamagrostis arundinacea</i>														○	
マダケ		<i>Phyllostachys bambusoides</i>		○												○	
ミソイチゴツナギ		<i>Poa acroleuca</i>		○												○	
ミヤコザサ		<i>Sasa nipponica</i>		○	○											○	
ミヤマササガヤ		<i>Microstegium nudum</i>														○	
モウソウチク(選出)	<i>Phyllostachys heterocycla</i>		○												○		
裸子植物																	
ひのき科	アスナロ(植栽)	<i>Thuopsis dolabrata</i>							○							○	
	スギ(植栽)	<i>Cryptomeria japonica</i>		○						○						○	
	ヒノキ(植栽)	<i>Chamaecyparis obtusa</i>		○						○						○	
まつ科	アカマツ	<i>Pinus densiflora</i>						○								○	
いぬがや科	イヌガヤ	<i>Cephalotaxus harringtonia f. drupacea</i>						○								○	
いちい科	カヤ	<i>Torreya nucifera</i>														○	
シダ植物																	
ひかげのかずら科	ヒカゲノカズラ	<i>Lycopodium clavatum</i>		○												○	
いわひば科	カダヒバ	<i>Selaginella heterostachys</i>														○	
とくさ科	スキナ	<i>Equisetum arvense</i>		○												○	
	トクサ	<i>Equisetum hyemale</i>		○												○	
はなやすり科	オオハナワラビ	<i>Botrychium japonicum</i>														○	
ぜんまい科	ゼンマイ	<i>Osmunda japonica</i>		○	○			○	○	○	○					○	
きじのおしだ科	オオキジノオ	<i>Plagiogyria euphlebia</i>		○	○											○	
	キジノオシダ	<i>Plagiogyria japonica</i>		○	○			○	○	○	○					○	
うらじろ科	ウラジロ	<i>Gleichenia japonica</i>		○	○											○	
	ウシダ	<i>Dicranopteris linearis</i>		○	○											○	
こばのいしかぐま科	イワヒメワラビ	<i>Hypolepis punctata</i>		○	○											○	
	フモトシダ	<i>Microlepia marginata</i>		○	○			○	○							○	
	フモト	<i>Persea americana</i>		○	○											○	
ほんぐうしだ科	ホウレンブ	<i>Sphenomeris chinensis</i>		○	○											○	
ほうらいしだ科	イワガネゼンマイ	<i>Coniogramme intermedia</i>		○	○											○	
	イワガネシダ	<i>Coniogramme japonica</i>		○	○											○	
	カンザクシダ	<i>Adiantum pedatum</i>						○	○		○	○				○	
	タチシダ	<i>Onychium japonicum</i>			○											○	
いのもとそう科	イノモトソウ	<i>Pteris multifida</i>						○	○							○	
	オオバノイノモトソウ	<i>Pteris cretica</i>		○	○			○	○		○	○				○	
	オオバノハチジョウシダ	<i>Pteris excelsa</i>														○	
ちゃせんしだ科	イヌチャセンシダ	<i>Asplenium tripteropus</i>														○	
	コバノヒノキシダ	<i>Asplenium sarelii</i>														○	
	トキワトランオ	<i>Asplenium pekinense</i>														○	
ししがしら科	チャセンシダ	<i>Asplenium trichomanes</i>		○	○											○	
	シシガシラ	<i>Blechnum niponicum</i>		○	○				○							○	
	オニヤブソテツ	<i>Cyrtomium falcatum</i>														○	
	イノデ	<i>Polystichum polyblepharum</i>		○	○											○	
	クマワラビ	<i>Dryopteris lacera</i>		○	○				○							○	
	ジュウモンシダ	<i>Polystichum tripterum</i>		○	○											○	
	ハカタシダ	<i>Arachnioides simplicior</i>														○	
	ベニシダ	<i>Dryopteris erythrosora</i>		○	○											○	
	ヤブソテツ	<i>Cyrtomium foutunei</i>														○	
	リウモンシダ	<i>Arachnioides standishii</i>														○	
ひめしだ科	イブキシダ	<i>Thelypteris esquirolii var. glabrata</i>														○	
	ヒメワラビ	<i>Thelypteris torresiana var. calvata</i>							○							○	
	ミシダ	<i>Stegogramma pozoi subsp. mollissima</i>														○	
	ミドリヒメワラビ	<i>Thelypteris viridifrons</i>							○							○	
いわでんだ科	ノキギリシダ	<i>Diplazium wichurae</i>														○	
	ハクモウイノデ	<i>Deparia pycnosora</i>														○	
	ヘラシダ	<i>Diplazium subsinuatum</i>		○	○											○	
うらぼし科	ヤマイヌワラビ	<i>Athyrium vidalii</i>														○	
	クリハラン	<i>Neocheiropteris ensata</i>														○	
	ノキシノブ	<i>Lepisorus thunbergianus</i>														○	
	マメヅタ	<i>Lemmaphyllum microphyllum</i>		○	○											○	
	ミンデウラボシ	<i>Crypsinus hastatus</i>		○	○										○		

図版 1. 和泉葛城山の主な植物ー 1



イヌガヤ
いぬがや科
東手川 2009年9月29日



イヌシデ
かぼのき科
和泉葛城山 2009年9月10日



アカシデ
かぼのき科
和泉葛城山 2009年9月10日



アズサ
かぼのき科
和泉葛城山 2009年9月10日



ブナ
ぶな科
作業道 2009年6月25日



イヌブナ
ぶな科
和泉葛城山 2009年9月10日



アカガシ
ぶな科
登山道Bコース 2009年9月10日



コジイ
ぶな科
登山道Bコース 2009年4月22日



ミヤコミズ
いらくさ科
東手川 2009年9月29日



ヤドリギ
やどりぎ科
登山道Aコース 2009年9月10日



ナンバンハコベ
なでしこ科
東手川 2009年9月29日



カゴノキ
くすのき科
登山道Bコース 2009年4月22日

図版2. 和泉葛城山の主な植物—2



ヒメクロモジ
くすのき科
和泉葛城山 2009年9月10日



ヤマコウバン
くすのき科
東手川 2009年9月29日



アブラチャン
くすのき科
登山道Aコース 2009年9月10日



イズミカンアオイ
うまのすずくさ科
登山道Aコース 2009年8月1日



イワガラミ
ゆきのした科
登山道Bコース 2009年6月25日



ニガイチゴ
ばら科
登山道Bコース 2009年4月22日



ヘビイチゴ
ばら科
東手川 2009年9月29日



アカメガシワ
とうだいぐさ科
東手川 2009年9月29日



サンショウ
みかん科
登山道Bコース 2009年4月22日



ミヤマシキミ
みかん科
登山道Bコース 2009年9月10日



カキノハグサ
ひめはぎ科
登山道Bコース 2009年6月25日



コハウチワカエデ
かえで科
登山道Bコース 2009年9月10日

図版3. 和泉葛城山の主な植物—3



ツリバナ
にしきぎ科
和泉葛城山 2009年9月10日



コショウノキ
じんちょうげ科
登山道Bコース 2009年4月22日



モミジカラスウリ
うり科
東手川 2009年9月29日



クマノミズキ
みずき科
東手川 2009年9月29日



ハナイカダ
みずき科
登山道Bコース 2009年4月22日



ミヤマウコギ
うこぎ科
登山道Aコース 2009年8月1日



タカノツメ
うこぎ科
登山道Bコース 2009年4月22日



ギンリョウソウ
いちやくそう科
登山道Bコース 2009年6月25日



カクミノスノキ
つつじ科
登山道Bコース 2009年6月25日



マルバアオダモ
もくせい科
登山道Bコース 2009年4月22日



ツルリンドウ
りんどう科
登山道Bコース 2009年9月10日



アカネ
あかね科
東手川 2009年9月29日

図版4. 和泉葛城山の主な植物—4



ミズタビラコ
むらさき科
東手川 2009年9月29日



レモンエゴマ
しそ科
東手川 2009年9月29日



アキチヨウジ
しそ科
東手川 2009年9月29日



ミゾホオズキ
ごまのはぐさ科
登山道Aコース 2009年6月25日



イワタバコ
いわたばこ科
登山道Aコース 2009年8月1日



ニワトコ
すいかずら科
東手川 2009年9月29日



コバノガマズミ
すいかずら科
登山道Bコース 2009年4月22日



ミヤマガマズミ
すいかずら科
登山道Bコース 2009年4月22日



ノコンギク
きく科
東手川 2009年9月29日



セトウチホトギス
ゆり科
和泉葛城山 2009年9月10日



コヤブラン
ゆり科
登山道Aコース 2009年8月1日



シオデ
ゆり科
東手川 2009年9月29日

図版5. 和泉葛城山の主な植物—5



シュンラン
らん科
登山道Bコース 2009年4月22日



ヒカゲノカズラ
ひかげのかずら科
登山道Bコース 2009年6月25日



カタヒバ
いわひば科
東手川 2009年9月29日



ゼンマイ
ぜんまい科
登山道Bコース 2009年4月22日



ウラジロ
うらじろ科
登山道Bコース 2009年4月22日



キジノオシダ
きじのおしだ科
登山道Bコース 2009年4月22日



フモシダ
こばのいしかぐま科
登山道Bコース 2009年4月22日



イワヒメワラビ
こばのいしかぐま科
東手川 2009年9月29日



イワガネゼンマイ
ほうらいしだ科
登山道Bコース 2009年4月22日



クジャクシダ
ほうらいしだ科
登山道Aコース 2009年6月25日



オオバノイノモトソウ
いのもとそう科
登山道Bコース 2009年4月22日



オオバノハチジョウシダ
いのもとそう科
東手川 2009年9月29日

図版6. 和泉葛城山の主な植物ー6



ジュウモンジシダ
おしだ科
登山道Aコース 2009年9月10日



イノデ
おしだ科
登山道Bコース 2009年4月22日



ヤブソテツ
おしだ科
登山道Bコース 2009年4月22日



ハカタシダ
おしだ科
登山道Aコース 2009年8月1日



リョウメンシダ
おしだ科
東手川 2009年9月29日



ベニシダ
おしだ科
登山道Bコース 2009年4月22日



クマワラビ
おしだ科
登山道Bコース 2009年4月22日



イブキシダ
ひめしだ科
東手川 2009年9月29日



ノギリシダ
いわでんだ科
東手川 2009年9月29日



ヘラシダ
いわでんだ科
登山道Bコース 2009年6月25日



イヌチャセンシダ
ちゃせんしだ科
東手川 2009年9月29日



コバノヒノキシダ
ちゃせんしだ科
東手川 2009年9月29日